事例No.	2790
公表年度	R5
団体の属性	複数団体
団体名	茨城県つくばみらい市・高砂熱学工業株式会社

事例区分	行政改革

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・組織改革 ・研修会・勉強会

事例種類	新たな政策手法の確立

事例内容・タイトル

高砂熱学工業株式会社との包括連携協定に基づく「みらい都市」実現プロジェクト

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



高砂熱学工業株式会社との包括連携協定に基づく「みらい都市」実現プロジェクト

茨城県つくばみらい市・高砂熱学工業株式会社（たかさごねつがくこうぎょう）

DATA

事　例　名：高砂熱学工業株式会社との包括連携協定に基づく「みらい都市」実現プロジェクト
所　在　地：茨城県つくばみらい市福田195
連　絡　先：TEL 0297-58-2111
FAX 0297-58-5611
E-mail kikaku01@city.tsukubamirai.lg.jp
ホームページ：https://www.city.tsukubamirai.lg.jp/

取組の概要

高砂熱学工業株式会社が、茨城県つくばみらい市内に、本社機能の一部と研究施設を集約した「高砂熱学イノベーションセンター」を立地。これにともない、つくばみらい市と高砂熱学工業株式会社は、2020年8月に脱炭素社会の実現や社会課題の解決に向け、「教育」「防災」「コミュニティ」「エネルギー」の各分野で相互に連携して取り組むことを目的として、包括連携協定を締結した。この協定に基づき、地域社会の持続可能な発展と「みらい都市」の実現に向けた、さまざまな取り組みを実施している。

評価された点

- カーボンニュートラルを学ぶ機会が地域にあるという有利性を活かし、協定を結んだ後も行政と民間が協力しあい地元還元へ連携を確立させている点を評価。
- 地方自治体と企業の連携協定の多くは協定書を交わしただけで、有機的な協働が行われているとは言い難いケースが多い。本取組みの協働には目を見張るものがあり、官と民の長所をうまく連携させており、これからが大いに期待できる。
- 教育、防災、コミュニティ、エネルギーという社会課題の解決に向け、自治体と一企業との連携という新しいモデルを構築したことは、他の自治体にもヒントになるものである。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ
高砂熱学工業株式会社が、つくばみらい市内に高砂熱学イノベーションセンターを立地。

・複雑多様化する地域課題の解決に向けて、さまざまな知見を持つ市内企業との連携を計画。

2020年

高砂熱学工業株式会社と「『みらい都市』の実現に向けた包括連携協定」を締結

・脱炭素社会の実現や社会課題の解決に向け包括連携協定を締結。

・協定内容を実現させるべく、関係部署が集まって情報共有や進捗管理を行う必要性。

2020年～

「第1回包括連携協定に基づく連携協議会」を開催

・「教育」「防災」「コミュニティ」「エネルギー」の4つの分野について、取組状況報告や分野横断的な情報交換を行うことを目的として連携協議会を定期的に開催。



2021年～

避難時にも適応する体育館空調システムの開発

・災害時の避難所での市民の安全な暮らしを目的とした、体育館空調システムの開発に取り組む。



2021年～

「第1回たかさごマルシェ」を開催

・高砂熱学イノベーションセンター敷地内で農産物の直売や施設見学等を行う「たかさごマルシェ」を開催。





2021年～

脱炭素に向けた勉強会の開催

・市の脱炭素に向けた取り組みを進めるため、高砂熱学工業との勉強会を定期的に実施。

今後の展望
・引き続き、地域社会の持続可能な発展と「みらい都市」の実現に向けて各分野で取り組みを進める。

受賞者のコメント

2020年から始まった高砂熱学工業株式会社との包括連携協定に基づく取り組みでは、高砂熱学工業株式会社からの幅広い知見や技術による協力を頂きながら、各分野において一歩ずつ取り組みを進めてきたところです。

取り組み内容がだんだんと実を結び始めている中、このような賞を頂戴したことは、今後の活動の励みになるもので、大変嬉しく思います。今後も、高砂熱学工業株式会社とさらに連携を深め、地域課題の解決に取り組んでまいります。